

算数指導のポイント

○指導方針

- ・ 正しく計算する力をつける。
- ・ 自分の考えを伝える力をつける。
- ・ 友達のことを読み解く力をつける。

○学習計画

- ・ 品川区の算数の指導計画に基づき、作成。
- ・ 教科書、22 プラス、プラスαー、アイテムを使って学習
- ・ 1～6 年生まで一貫・継続した指導、板書計画の作成
 - 1 年生～「がっちゃん」「すう」、時計のくりかえし指導
 - 2 年生～筆算の書き方、
 - 3 年生～わりざんの筆算の早期導入、
 - 4 年生～計算のきまりのくりかえし指導、面積の考え方
 - 5 年生～割合、単位量あたりの大きさのくりかえし指導、体積の考え方
 - * 単位の仕組み (単位の換算)
 - * 重さ長さ水のかさの感覚 (体験活動)
 - * 図形の感覚 パズル、図形を分ける、回す、ひっくり返す
 - * 数の感覚 5, 10, 15・・・、10, 20, 30・・・、25, 50・・・、
45, 90, 180, 360・・・、125, 250, 500, 1000・・・など
- ・ 習熟度別委員会などで、指導したことを 7～9 年生の数学科の先生にも伝えていく、
と同時に、7～9 年生の課題も聞き、日々の指導に生かしていく。
 - * 課題・・混合の四則計算、計算のきまり、割合、比例、

○授業の工夫

- ・ 図や式、言葉を使って説明する活動 (途中まででもよい)
- ・ 図や式、言葉から、友達の考えを読み解く活動
- ・ 体験活動の重視
- ・ 練習時間の確保

○自主学習・家庭学習の役割

- ①基礎学力の定着、②学習習慣の定着、③学習達成状況の確認

○算数指導とアイテム算数とのかかわり (活用場面、活用事例、アイテムへの児童の書き込み、ノートなど)

<基本的な使い方>

- ・ 教科書である程度学習した後、アイテムで練習。(書き込みで、活用問題までは全員、チャレンジ問題はできる人だけ)
 - ・ ドリルは主に宿題。(ドリル用ノートを使用)
- 授業の初めに計算練習したり、早く課題が終わった児童が取り組んだりすることもある。
- *活用問題が大変よい。